



# あんぽ柿をアラブ首長国連邦に試験輸送

## 来冬からの本格的な輸出目指す

福島県本部



ドバイの日本料理店で行ったPR

試験輸送に合わせて、1月7〜9日にドバイを訪問し、輸送後の品質や現地需要の調査およびPRを行いました。  
輸送後の品質に問題はなく、レストラン関係者などからの反応は良好でした。今後、2月にドバイで開かれる日本食品の物産展に出品し、来冬からの本格的な輸出を目指します。

福島県とJAふくしま未来、福島県本部は、県の特産品「あんぽ柿」をアラブ首長国連邦(UAE)に試験輸送しました。

# 秋田県産「桃豚」がシンガポールに初上陸!

## 香港に続き輸出第2弾

畜産総合対策部



シンガポールへの輸出が始まった「桃豚」

アジアの主要拠点であるシンガポールへの輸出を足掛かりに、高品質な国産豚肉の魅力の世界に発信していきます。

輸出するのは、同県のポークランドグループが生産する「十和田湖高原ポークSPF桃豚」です。「桃豚」は平成29年から香港向けに輸出を始め、現地のレストラン・百貨店を中心に高く評価され、順調に輸出量を伸ばしています。

全農のグループ会社で食肉処理を行う(株)ミートランド(秋田県鹿角市)は、厚労省からシンガポール向け輸出食肉取扱施設に認定されたことを受け、昨年12月から同国向けに豚肉の輸出を始めました。

# 「Z-GIS」新規加入キャンペーンを実施中

## 利用料が最長4カ月無料に

耕種総合対策部

全農 営農管理システム Z-GIS

Special Campaign

**Z-GIS みんなで始めようキャンペーン**

農場情報の電子化・見える化

令和2年1/1〜3/31

期間限定 入会后、最長4か月間利用料が無料

キャンペーンのちらし

03-6271-8274まで。

「Z-GIS」のホームページはこちら

お問い合わせは、全農耕種総合対策部スマート農業推進室(TEL 03-6271-8274)まで。  
期間中に新たに入会した生産者は、申し込んだ月とその後の3か月の利用料が無料になります。  
また、既に利用中の生産者が新規入会者を紹介すると、利用料が1か月分無料となるキャンペーンも同時に実施中です。

全農が運営するクラウド型営農管理システム「Z-GIS」は、3月末までの間に新たに入会した生産者を対象に、利用料が最長4か月無料になるキャンペーンを実施中です。

# 「米ゲル」を使ったライスバーガーを発売!

もちもちとした新食感で、米の消費拡大へ

広島県本部

広島県本部は、パンズ部分のつなぎに「米ゲル」を使用した「ひろしまライスバーガー」を開発し、県本部直営の直売所、JAタウンで販売します。

「米ゲル」は、加水した米を炊飯・高速せん断攪拌かくはんすることで、ゲル状に加工したものです。

「ひろしまライスバーガー」は、バーガーのパンの部分であるパンズの代わりに、県本部が取り組む「耕畜連携



もちもちとした食感の「ひろしまライスバーガー」

資源循環ブランド「3-R」のお米「おおあさこしひかり」に、米ゲルをつなぎとして使いました。米ゲルを使用したことでもちもちとした食感が楽しめます。中身の焼き肉には広島県産和牛を使用。県産米と県産牛でこだわりの逸品として発売し、米の消費拡大につなげます。

このライスバーガーは、県本部直営の直売所「とれたて元気市広島店」（広島市）と「とれたて元気市」となるの農家店」（東広島市）で販売します。また、JAタウンでも販売します。

JAタウンはこちらから  
(ショップ名:  
広島とれたて元気市)



昨年10月に広島県内で行われたイベントの試験販売でも大好評でした!

# エコープマーク品公式インスタグラム 『マーク品使ってみた! キャンペーン』

抽選で30名様にフルーツギフトが当たる

くらし支援事業部

全農はエコープマーク品公式インスタグラムで、『マーク品使ってみた! キャンペーン』を実施中です(3月15日まで)。

当アカウントは2018年11月の開設以来、職員自らが商品のこだわりやアレンジレシピを日々発信しています。

日頃からフォローいただいている皆さまや、エコープマーク品ご愛用者の方々の感謝を込めて、フォロー&投稿していただいた方から、抽選で30名様にフルーツギフトをプレゼントします。

この機会にぜひ、当アカウントをご覧ください。ただし、キャンペーンへのご参加をお願いします。

## 応募方法

- ①エコープマーク品公式アカウント @acoop\_mark\_daisuki をフォロー
- ②エコープマーク品を使用した料理や日常風景の写真を「#マーク品使ってみた」のハッシュタグをつけてインスタグラムに投稿

エコープマーク品  
公式インスタグラム  
はこちら



[https://www.instagram.com/acoop\\_mark\\_daisuki/](https://www.instagram.com/acoop_mark_daisuki/)



エコープマーク品公式インスタグラム

## 人手不足の時代に

## 「働きに行きたい」環境づくりを

## 地域の現場と旅する若者をマッチング

「株式会社おてつたび」は2018年7月に設立され、人手不足に悩む地域と、働きながら地域の魅力に触れたい若者とのマッチングを展開しています。現場の労働力不足に対する一手として、地域の魅力を知ってもらう手立てとして注目を集める同社の活動について、創設者で代表の永岡里菜さんに聞きました。

## 【広報・調査部】

## 地域の魅力を知る

私は三重県尾鷲市という漁業と林業の町に生まれました。自分にとってはいろんなものを教えてくれた土地なのですが、大学進学と同時に関東に来ると、(尾鷲市を)誰も知らない、来たこともないというところにひっかかりを感じていました。会社勤めをしていたときに、全国各地を飛び回る仕事をしてい

た際に、尾鷲みたいになんか見てもなさそうに見えるし、

地域の人から地域の魅力を知ると、気づいたら自分にとっては何もない地域ではなく、特別な地域になっている、ということも多く経験して、日本各地にあるそのような一見何もみえてしまう地域を知るきっかけづくりをしたいと思います。独立しました。

それからいろんな試行錯誤がありました。例えば、地域の

人と交流するために(お酒を)飲めるサービスを考案したりしました。しかし、あったらいい“nice-to-have”(あるといいもの)では単なる自己満足になってしまっているので、困っていることに対処する“win-win”(両者にメリットがある)になるものを探していました。

私自身、前職を退職後は東京の家を解約して、半年ぐらいいひたすらいろんな地域を巡っていく中で、多くの方が短期的な人手不足に困っているというのを聞いたことと、私自身も前職の時に仕事を通じて地域の魅力を知ったという経験もあって、ちょうど今から2年前くらいに「おてつたび」の実証実験も含め、小さくスタートしました。

ながおか・りな 三重県尾鷲市出身。千葉大学卒業後、イベント企画・制作会社にディレクターとして入社。官公庁・日本最大手のEC企業をはじめ数多くの企業のプロモーションやイベントの企画提案・プランニング・運営を担当。退職後は、農水省と共に和食推進事業をゼロから作り上げる。その後フリーランスを経て、地域にほれ込み2018年7月に「株式会社おてつたび」を設立。



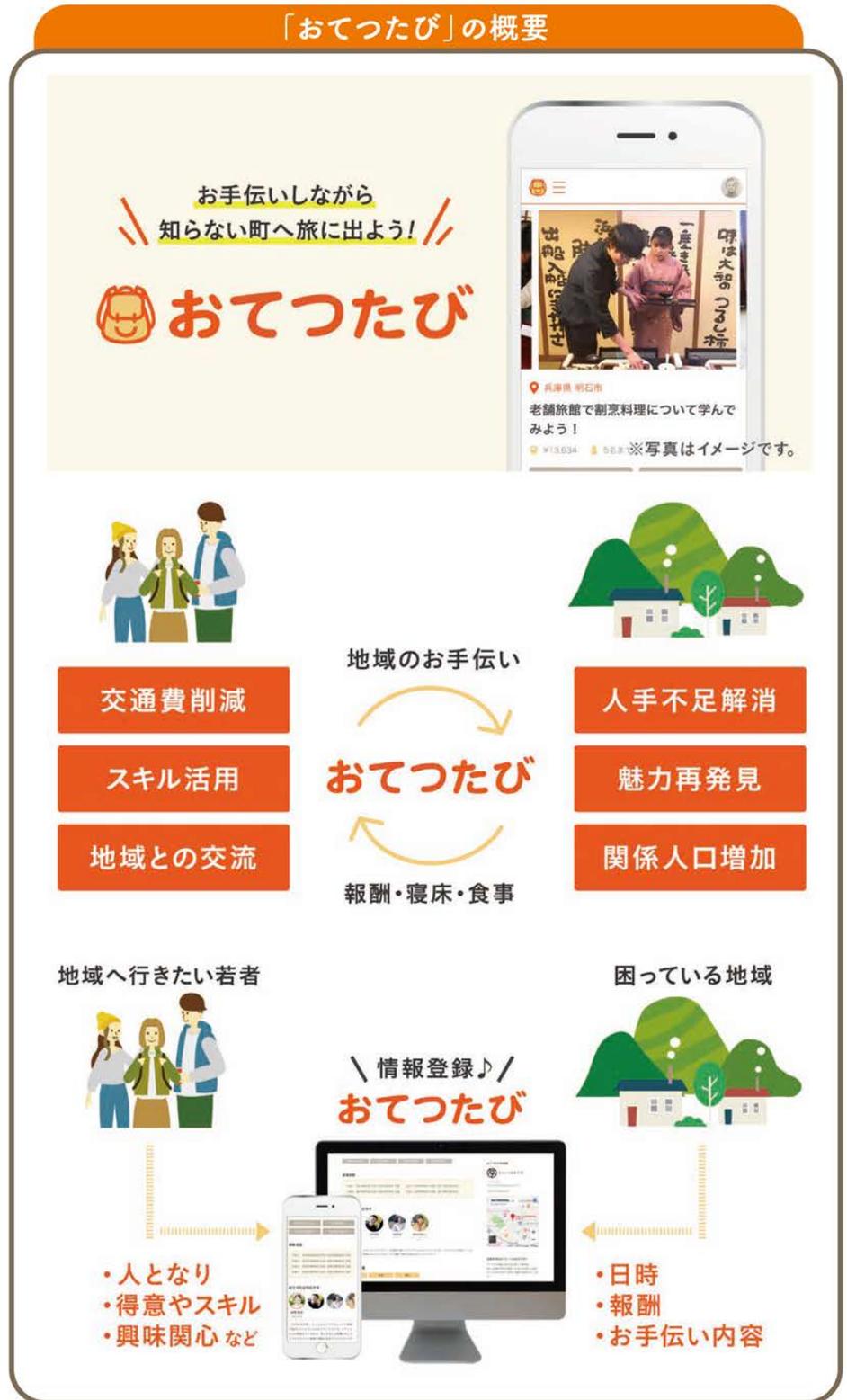
## Webサイトで地域の現場と若者をマッチング

「おてつたび」は、短期的な人手不足に困っている地域の方が、仕事の内容や報酬などをWebサイトに登録すると、大学生や若手社会人などの利用者がそれを見て、希望した先に行って働くというものです。

現地に行くまでの交通費は利用者負担ですが、宿泊は農家さんなど受け入れる側で準備します。農家さんの家だったり、従業員の寮だったりすることが多いです。

「住み込みバイト」「季節労働」というのはこれまでもあったわけですが、どちらかという怖そうだったり、不安定そうだったりとながティブな先行イメージがあつたと思います。ただ、私たちは一緒に仕事をすることは、自然と地域の方と関係性ができ、地域のことを知れるので、とても尊いことだと思っています。ですので、「おてつたび」では、それらの言葉をわくわくするようなものにリブランディング(再構築)していきたいと考

### 「おてつたび」の概要



えています。

当社は宣伝などを行っていないのですが、口コミやメディア情報をもとに利用者が増えており、ユーザー過多な状態で、新しい「おてつたび」先がオープンすると直ぐに埋まってしまう状況です(現在の倍率は6〜10倍)。

そんな状況を見ながら、地域に興味を持つ人が増えているというのは、すごく明るい未来だなと思います。

### アグベンチャーラボの支援で農業を拡大

「おてつたび」は、旅館の仕事から始まったのですが、おかげ



人手不足解消

魅力再発見

関係人口増加

困っている地域



- ・日時
- ・報酬
- ・お手伝い内容

地域のお手伝い

おてつたび

報酬・寝床・食事



交通費削減

スキル活用

地域との交流

地域へ行きたい若者



- ・人となり
- ・得意やスキル
- ・興味関心など

さまざまメディアにも取り上げられるようになり、その中で問い合わせが多かったのが1次産業でした。農家さんから直接問い合わせがくることもありましたが、利用者からも「農業ないんですか」と聞かれることもありました。もともと私自身も1次産業の地域出身という事もある

り、スタート時から農業にも早く対応させたいと思っていましたので、小さく準備を始めていました。

そんな中、昨年(2019年)5月、JAグループのイノベーションの拠点 AgVenture「ag(アグベンチャーラボ)の」JA アクセラレーター」に採択さ



AgVenture Lab「JAアクセラレーター」の成果発表会「Demo Day」で報告する永岡さん

れ、約4カ月にわたり、J Aグループの支援を受けました。J Aおいらせ(青森県)・J A紀の里(和歌山県)・J Aおきなわの3 J Aにご協力いただき、J Aさんが窓口になって、人手不足の農家さんに話をつないでもらったり、募集案内づくりの手伝いをしてもらったりして、各地で「おてつたび」を活用いただくことができました。

「働きに行きたい」  
環境づくりが重要

農家さんは、最初は「本当に役に立つのか」「世話する方が



ゴボウを収穫する「おてつたび」利用者(青森県三沢市で)

大変なのは「遊び半分であらなくても困る」という懐疑的な方も多いのですが、実際やってみると、利用者の積極的な働きぶりに満足したという声がかかります。

「おてつたび」で大切にしてい

ることとして、「体験を売っていない」ということを利用者に必ず伝えようとしています。「おてつたび」で定義している「体験」とは、美しいところ、楽しいところだけを切り取って見せてもらう代わりに、利用者はそれ

に対してお金を払うことです。「おてつたび」では、人手不足にコミットしているので、利用者には「仕事は大変だよ」というのは必ず伝えていきます。利用者からも「大変だった」「1日目は本気(マジ)かと思った」と感想があるくらいですが、自分たちが食べているものがどれだけ大変な形で作られているのかというのは知るべきことですし、一生懸命仕事に向き合うからこそ、地域の方との信頼関係も築けると私たちは信じていますし、実際に「おてつたび」後の再訪率が現在6割程というデータからも、それらを物語っているかと思えます。

労働力不足にはどこも困っていますし、日本のこれからの大きな課題になると思います。だからこそ単なる「労働力」ということだけだと、いくらお金を積んでも働き手が来なくなる時代が絶対くると思います。スマート農業の考えは重要ですし、確実に広がっていくと思います。人が手によらないといけない部分もまだまだあると思いますので、そういったところに、働きに行きたいという環

境を整えていくことが中長期的に重要だと思えます。地域の皆さんや若い方たちと一緒に、そういう世界をつくりながら、人手不足を人や地域と出会うチャンスに変えていけたらうれしいと思います。

おてつたび × JA

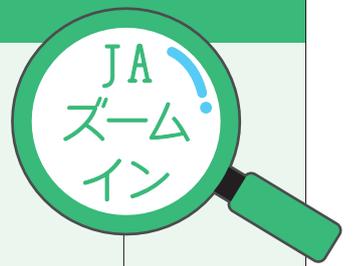
「JAとのコラボおてつたび」がスタート!

「おてつたび」では、JAと連携したプロジェクトが始まりました。ご賛同いただけるJAを募集しております。お問い合わせは特設サイトからお願いします。

特設サイトはこちら

<https://otetsutabi.com/features/ja>





# 地域へ笑顔と元氣の発信掲げ

# 農業振興や活性化へ自己改革

JA福岡京築は、地域の「農」を育む活動を通じて、「食」にこだわり、組合員・地域に笑顔と「元氣」の発信を経営基本理念に掲げ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とする地域の農業振興や活性化のための「自己改革」

に取り組んでいます。

## 地域の農業振興へ 出向く営農指導構築

地域の農業振興の取り組みの一環として、出向く営農指導体制を構築し、専任の担い手支援活動担当者（TAC）による営農相談機



専任の担い手支援活動担当者による営農相談



昨年4月にオープンした直売所「京築恵みの郷 ゆくはし店」

能拡充に取り組んでいます。

また、肥料銘柄の集約や大型規格農薬の取り扱いなどによる生産資材価格の引き下げに取り組むとともに、麦の作付け拡大に対する支援助成をはじめとして、JA独自の農業振興支援策を講じています。

## 地域の活性化に向け 組合員訪問活動展開

支店の再編整備に伴い、移動金融店舗車を導入しました。組合員・利用者の方々

## JA福岡京築 (福岡県)



支店の再編整備に伴い導入した移動金融店舗車

への簡易な入出金サービスなどを提供しています。

更に、年金・相続相談会（移動ふれあい相談会）として、地域住民が集まる場所にLA（ライフアドバイザー）が出向き、将来の生活設計に関する悩み相談なども行っています。

自己改革を更に進めるため、常勤役員が認定農業者や営農組合の方々を訪問し、皆さまの声を聞く活動を

施しました。また、職員が2万2000人余りの組合員の皆さまを訪問し、多数のご意見・ご要望を頂きました。

JA福岡京築は、組合員の皆さまから頂いたご意見・ご要望を真摯に受け止めるとともに、皆さまの期待に応え、魅力ある、地域になくてはならないJAを目指します。



常勤役員が認定農業者や営農組合の方々を訪問

概要	平成31年3月31日現在
正組合員数	1万3000人
准組合員数	1万2781人
職員数	484人
販売品取扱高	48億8千万円
購買品取扱高	47億円
貯金残高	1559億6千万円
長期共済保有高	5032億5千万円
主な農産物	米・麦・イチゴ・レタス・イチジクなど

# 「あまざけヨーグルト」を発売

糀菌と乳酸菌の2つの発酵パワーで美と健康をサポート

東北協同乳業(株)は1月20日、濃縮あまざけとヨーグルトの2層仕立ての新商品「あまざけヨーグルト」を発売しました。【東北協同乳業(株)】

明治39年の創業以来110年余以上「米糀<sup>こうじ</sup>」造りを続ける(株)宝来屋本店との共同開発商品です。米糀のつぶつぶ感が味わえる同社の濃縮あまざけと、東北協同乳業の「11/19-B1乳酸菌」使用のヨーグルトを使用し、麴菌と乳酸菌の2つの発酵パワーで美と健康をサポートします。

1月20日から福島県内スーパーで先行販売し、2月3日から県内外で販売を始めました。皆さま、ぜひご賞味ください。



濃縮あまざけとヨーグルトの2層仕立ての新商品「あまざけヨーグルト」

## 「地味弁.com」新レシピを公開しました!

全農は、お米の消費拡大の取り組みの一つとして、「地味<sup>じみ</sup>だけ<sup>だけ</sup>おいしい」お弁当、「地味弁」を特設サイトで紹介しています。

【米穀生産集荷対策部】

1月から新たに4つのお弁当のレシピを公開しました。また、作ってみたい地味弁に投票すると、応募者の中から抽選で1年分相当のおこめギフト券が当たるTwitterキャンペーンも実施しています(3月まで)。今後も地味弁.comに、ぜひご注目ください。



今回追加された、左から「照り焼きチキンと切り干しだいこん きんぴらの茶色弁当」、「照り焼き&半熟卵のネオ親子弁当」、「トロッとトマトで味変 2色そばと焼きトマト弁当」、「男子も大満足! 豚バラかば焼き重」

地味弁.com  
JIMIBEN.COM

地味弁.comはこちらから <https://jimiben.com/>



## JAタウン ショップ紹介

JAタウン | 検索 クリック

### 健農健食ネット(全国農協食品(株))



45g...1200円  
にほんのドライフルーツ(セレクトBOX)

JAタウンはこちらから



全国農協食品株式会社から紹介するのは、2020年1月からJAタウン「健農健食ネット」で新登場の「にほんのドライフルーツ(セレクトBOX)45g」です。

本品は、味わいの異なる8つの果物(リンゴ、柿、ラ・フランス、不知火、キウイフルーツ、パイナップル、イチゴ、ミカン)をミックスした商品で、食べ比べをお楽しみいただけるイチオシの一品です。

「にほんのドライフルーツ」の魅力は、国産果実の持ち味がしっかり伝わるように砂糖・保存料不使用を貫いたこと。1日~数日間じっくり乾燥させたことで凝縮した、甘み・酸味・香りをそのまま堪能ください。

大切な方への贈り物やお手土産にもぴったりです。国産原料にこだわり、果物本来の味を楽しめる「にほんのドライフルーツ(セレクトBOX)45g」。この機会にぜひ、ご賞味ください。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <https://www.ja-town.com>  
▶お問い合わせは [shop@ja-town1.com](mailto:shop@ja-town1.com)

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報、商品等の発送にのみ使用します。